

平成29年度 にぎわい都市創造部の運営方針

部名	にぎわい都市創造部
部長名	脇田 直行

(作成日) 平成 29 年 7 月 3 日

【部の基本方針(政策目標)】

にぎわいのあるまちづくりのためには、まず、商工業や農業の振興が必要不可欠です。そのために、にぎわい都市創造部では市内事業所のニーズ等に応じた施策を進めていきます。また、農業振興につきましては、特に農業後継者や新規就農者の育成に力を入れ、農業の活性化と遊休農地の抑制を図ります。さらに、まちのにぎわいには“人”が重要です。そのためには現在の自治会活動を支援するとともに、より一層安全なまちづくりのため、防犯カメラの設置をはじめとした防犯対策を進めていきます。また、住みやすいまちづくりとともにより多くの人に本市の文化や歴史、特産物、自然、風土などを知っていただくため、積極的に市外へ飛び出し、他府県の自治体や民間企業とも連携しながら、さまざまなPR活動を行います。これらにより、一人でも多くの人に「ええとこやん、柏原」と感じていただき、本市を訪れ、また、住んでいただけるような施策に取り組んでいきます。

【重点課題】

1	農業・商業・工業等の産業振興
2	防犯カメラ設置の推進
3	自治会活動の支援の強化
4	若者の移住・定住化の促進
5	地域資源の活用による交流人口の増加

【重点課題1】

農業・商業・工業等の産業振興

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

- ・農業後継者を中心に新規就農者の育成を図ります。
- ・地元農産物などの知名度アップを図ります。
- ・商工業者の新規顧客の獲得や販路拡大を図ります。
- ・消費生活相談体制の強化を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

①	【農業】 ・ぶどう担い手塾を開講 ・新規就農者又は農業後継者の経営改善のための支援 ・市外での地元農産物等のPR
②	【商工業】 ・市内事業所情報サイト「柏原・まち・ひと・しごとnet」の充実とサイトの周知を図り掲載事業所数を増やします。 ・市内の空き店舗を活用する新規出店者を増やします。 ・消費生活センターを設置し、より相談しやすい環境づくりと啓発の強化に努めます。

イ 達成目標

①	市民意識調査の「農業」満足度を前回数値より高めます。
②	市民意識調査の「商業・工業」満足度を前回数値より高めます。

【重点課題2】

防犯カメラ設置の推進

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

地域の身近な通勤通学路等については町会への補助制度により、主要幹線道路など広域的な防犯環境の整備や市外からの犯罪流入阻止に効果的な箇所については、市主体により防犯カメラ設置することで、安全安心なまちづくりを目指します。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 警察の協力を得ながら、市が主体となり、市内8カ所に防犯カメラを設置します。

イ 達成目標

① 市民意識調査の「防犯体制」満足度を前回数値より高めます。

【重点課題3】

自治会活動の支援の強化

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

環境、安全安心、福祉など様々な公益活動を実施している自治会を直接支援することで、地域の活性化や協働の推進を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 市内自治会の公益的活動に要する経費に対し、直接補助する制度を開始します。

イ 達成目標

① 市民意識調査の「コミュニティ活動」満足度を前回数値より高めます。

【重点課題4】

若者の移住・定住化の促進

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

・子育て世代の女性等の雇用創出を図ります。
・若い世代の転入増加、転出抑制を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① ・ハローワークとの一体的事業を進めることにより、子育て中の母親に就業を促します。
・子育て中の母親に対し民間活力を利用した働き場所を創出します。

② ・子育て世代を対象とした支援を行うことにより、移住・定住化を促進します。

イ 達成目標

① ・子育て世代の人口増加を図ります。

② ・雇用の創出による経済効果が見込めます。

【重点課題5】

地域資源の活用による交流人口の増加

(1) 目指すべき方向(中期的な目標)

豊かな自然環境や歴史的な資源を活かし、交流人口の増加による観光振興と地域活性化を図ります。

(2) 今年度の目標

ア 活動目標

① 柏原市、香芝市、王寺町、三郷町の2市2町による広域観光ルートの整備に向けた準備を進めます。

イ 達成目標

① エリア全体の価値を高めることにより、柏原市の魅力や認知度を高め、多くの方が訪れるにぎわいのあるまちを目指します。